



東京オリパラ

東京オリンピック・パラリンピック開催まで

あと 1年 5か月



▲研修会でパラカヌーについて学ぶサポーターの皆さん

ボランティアを通して、 スポーツを 盛り上げよう！



東京オリンピック・パラリンピックまであと500日余りとなりました。組織委員会が募集した大会ボランティアは、目標としていた8万人を超え、国内外から18万人の応募がありました。選手が大会でベストを尽くすことができるのは、本当に多くの人の支えがあるからこそだと改めて思いました。

さて、皆さんは小松市でもスポーツボランティアを募集していることをご存じですか。地元出身選手をはじめ、国内外のアスリートを支援する「小松市スポーツ市民サポーター」です。現在44人が登録し、昨年は、小松に滞在したニュージーランドやカナダの選手のほか、イギリス視察団への通訳などで活躍したそうです。2020年に向けて、今後小松に来る選手が更に増えると思います。通訳だけでなく、医療、パラリンピック選手への練習支援、また市内のスポーツイベントでの運営補助など、様々なサポーターを引き続き募集しています。

皆さんの得意分野を生かして、小松を訪れる選手たちを応援しましょう。

問い合わせ スポーツ育成課 ☎24・8139



～国際交流員キンバリーのこまつ新発見～

実はいろいろある!? 中国語

中華系の民族にとって一番大事な行事である太陰暦の旧正月。今年は2月5日から始まり、実家に帰って贅^{ぜいたく}沢な料理を食べたり、親戚や友人の家を訪問したりします。どんな中華系の人に聞いてもその習慣は同じなので、文化も同じだと考えられがちですが、実は地域によって食事や建築様式、言語などが異なります。

例えば、香港で使われている「広東語」の文法や単語は、北京で使用される「北京語(※マンダリン)」とは異なります。発音が似ているものもありますが、同じ意味でも使っている漢字が異なっていたり、文法の順番が違ったりと、お互いに通じない場面も結構あります。

「Teo(ティオ)」の名字を持つ私は「名前を聞いても、中華系だと全く分からなかった」と言われます。でも、「張」という漢字で表記するとすぐわかりますよね！そうです、ティオは別の方言の発音です。私の家族は元々中国の南



様々な中国語の例

日本語	北京語	広東語	潮州語
一	イ	ヤト	チェク
二	アル	イ	ンオル
三	サン	サム	サー
日本	レーペン	ヤトブン	ジッペン
ありがとう	シエシエ(謝謝)	ドルジェー(多謝)	ガムシア(感謝)

にある潮州地域の出身で、何代も前にシンガポールに移り住んだ祖先から受け継いだ潮州文化や言語は、まだ私にも残っています。

最後に中国語を少し紹介します。方言の違いを感じてもらえればと思います。

※マンダリン：中国の標準語

問い合わせ 観光文化課 ☎24・8039



開け!研究室のとびら

国際文化交流学部編

公立小松大学には、様々な専門分野の教員が在籍しています。どのような研究をしているのか紹介します。

問い合わせ 公立小松大学 ☎23・6600



国際文化交流学科
千葉 悠志 准教授
研究分野/中東地域研究、
メディア研究

「中東のことを研究しています」というと、「考古学者ですか」や「危なくないですか」などと聞かれることがあります。私が研究しているのは、20世紀以降の中東の政治や社会なので、残念ながら発掘調査の経験はありません。現在、中東には20以上の国があり、大部分は安定しています。どの国にも客人保護を重んじる風が残っています。人々が身の回りのことを気遣ってくれるという側面も見られます。専門は、地域研究とメディア研究です。特に、中東の政治社会とメディア(情報通信技術)との関係を調べています。例えば、中東は世界で最も衛星放送が発達している地域ですが、それはなぜなのでしょう。また、衛星放送やインターネットの普及は、現地の政治や社会をいかに変えたのでしょうか。メディアは情報化した現代社会を読み解くための「鍵」となります。そして、中東(より広くはイスラーム世界)についての知識は、これからのグローバル時代の「新たな教養」となるでしょう。講義を通じて、学生には変わりゆく世界を見通すための「鳥の目」を養ってほしいと考えています。

最後に、豆知識を一つ。コーヒーの語源がアラビア語の「カフワ」というのをご存じですか？中東にはいたるところに喫茶店があり、人々が新聞片手に、あるいは水煙草をふかしつつ、ゆったりとした時間を楽しんでいます。なかにはおしゃべりに興じる人たちもいます。そうした人々の日常を垣間見、時折そこに実際に身を置いてみることを、現地調査の楽しみとしています。

中東とメディアの視点から世界を眺める